

(公財)地域社会振興財団

令和6年度中央研修会を開催いたしました

令和6年6月から11月にかけて、自治医科大学の構内にある地域医療情報研修センターにおいて中央研修会を開催いたしました。全14回にわたって多職種の医療従事者向けに行われたもので、全国各地の医療従事者(保健師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等)433名の参加があり、受講生は真剣に講義に耳を傾け、積極的にグループワークに参加しました。

今年は4年ぶりに情報交換会が開催され、講師への活発な質問や、全国から参加した受講者同士で親睦を深めながら情報交換が行われ、満足度の高い研修会となりました。

なお、令和7年度中央研修会は、令和7年4月1日に募集を開始する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



講義 (診療放射線技師)



情報交換会 (薬剤師)



症例検討 (栄養管理)



講義 (健康企画・評価)



グループワーク (保健活動)



演習 (看護師特定行為修了者
スキルアップ)



グループワーク (口腔ケア)



講義 (リハビリ)



グループワーク (災害保健)

※カッコ内は研修会名

受講者の感想（アンケートより抜粋）

第 42 回診療放射線技師研修会

- ・研修内容は、易しすぎず、難しすぎることもなくちょうどよかった。
- ・全国の技師（比較的同世代）との情報交換ができ新鮮だった。
- ・医療安全についての講義が大変勉強になった。持ち帰って科内で共有したい。

第 42 回薬剤師研修会

- ・グループワークは各施設の薬剤師の方の現状や課題をきょうゆうすることができたためになった。
- ・他の病院の皆さんと交流でき、講義では自治医大の実際の業務を教えて頂き大変勉強になった。

第 9 回栄養管理研修会

- ・動脈硬化予防のための食事療法を理解する、については理解できたところと理解が追い付かなかったところがあるので、資料を基にまた自分自身も勉強しようと思った。
- ・コロナで Web 講義ばかりだったので、情報交換会までできたのは非常に懐かしい気持ちになり皆さんと知り合えたのでよかった。

第 49 回臨床検査技師研修会

- ・CPC は考え方の幅が広がってとても有意義だった。透析については知らないところが知れてとてもよかった。
- ・輸血と関係の深い各診療科の知識を体系的に学べて大変勉強になった。
- ・先輩にオススメしてもらい参加したが、今まさに自分が気になっていたクリオや MTP について学ぶことができよかった。

第 2 回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会

- ・看護補助者について理解が深まった。
- ・研修のテーマが理解できた。

第 22 回健康企画・評価研修会

- ・Wellbeing の考え方はこれから重要になると思うので、今勉強できてよかった。
- ・今まで参加した研修会の中で一番わくわくした。職場に帰ってから還元したいと思う。

第 43 回保健活動研修会

- ・苦手だと思っていた疫学や研究を少し身近に感じる事ができた。講義、演習ともに基本的な内容から振り返ることができるのがよかった。グループワークも普段かかわりのない自治体や大学の方との交流で知れた新しいことがたくさんあり、非常に楽しかった。
- ・5年以上実務経験があり、研究発表を控えている方におすすめしたい。

第 2 回看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会

- ・とても勉強になり、他の方とのディスカッションもとても身についた。

第 42 回健康学習研修会

- ・病気と元気のバランスを取ることやポジティブに変換することを心がけていきたい。
- ・現場だけでは学べない、健康教育の視点が学べて大変勉強になった。また、他の市町村の方のエピソードも聞けて参考になった。

第 20 回口腔ケア研修会

- ・普段自分が行っていないケア方法・保湿剤など知れてとても有意義な時間になった。
- ・身近な歯周病菌が全身のあらゆる疾患に影響しているのだということが医学的などころからきちんと説明して頂き、口腔ケアの重要性を改めて思い知ることが出来た勉強会だった。

第 4 回災害保健研修会

- ・PFA、災害時やグレーゾーンの方への支援の方法が勉強になりました。
- ・災害保健について何もわからないと思って受講したが、中長期の支援は日ごろの支援を充実させる以外ないと聞き、日々の支援をチームで共有したり事例検討をすることはスキルアップに繋がっているのだと自信が持てた。

第 24 回リハビリテーション研修会

- ・急性期医療のリハビリテーションについて幅広く学ぶことができた。今後の臨床に活かしていきたい。
- ・情報交換会で先生方とお話もできて、貴重な体験ができた。

第 47 回スタッフ育成・管理担当者研修会

- ・分かりやすいたとえが多く理解しやすかった。
- ・グループワーク、実習がたくさんあって実際に体験して感じる事が出来て良かった。
- ・スタッフ育成だけではなく、学生教育にも生かせる内容がほとんどで取り入れたいと考えている。

第 2 回チーム医療充実を目指したメディカルプロフェッショナル研修会

- ・カテーテル治療や外科治療の内容がとても分かりやすかった。糖尿病脂質異常症の管理についても少しじっくり聞きたかった。

令和6年度 中央研修会開催報告

	研修会名	研修期間	受講者数
1	第42回 診療放射線技師研修会	6 月 6 日 (木) ~ 6 月 8 日 (土)	43
2	第42回 薬剤師研修会	6 月 13 日 (木) ~ 6 月 14 日 (金)	60
3	第9回 栄養管理研修会	6 月 21 日 (金) ~ 6 月 22 日 (土)	47
4	第49回 臨床検査技師研修会	6 月 27 日 (木) ~ 6 月 28 日 (金)	79
5	第2回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会	7 月 8 日 (月)	30
6	第22回 健康企画・評価研修会	8 月 1 日 (木) ~ 8 月 2 日 (金)	17
7	第43回 保健活動研修会	8 月 9 日 (金) ~ 8 月 11 日 (日)	10
8	第2回看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会	8 月 30 日 (金)	4
9	第42回 健康学習研修会	9 月 5 日 (木) ~ 9 月 6 日 (金)	11
10	第20回 口腔ケア研修会	10 月 4 日 (金) ~ 10 月 5 日 (土)	38
11	第4回災害保健研修会	10 月 19 日 (土) ~ 10 月 20 日 (日)	14
12	第24回 リハビリテーション研修会	10 月 24 日 (木) ~ 10 月 25 日 (金)	20
13	第47回 スタッフ育成・管理担当者研修会	11 月 1 日 (金) ~ 11 月 2 日 (土)	48
14	第2回チーム医療充実を目指したメディカルプロフェッショナル研修会	11 月 8 日 (金)	12
		計	433

第 42 回 診療放射線技師研修会 日程表

テーマ：放射線検査技術と読影の補助

ねらい：医療の中での放射線技師の重要性を自覚し、これからの仕事に対応できる基本的知識の習得を目的とする。

6 月 6 日 (木)	6 月 7 日 (金)	6 月 8 日 (土)
<p>9:00 —————</p> <p style="text-align: center;">受 付</p> <p>9:30 —————</p> <p style="text-align: center;">開講式・オリエンテーション</p> <p>9:50 —————</p> <p style="text-align: center;">脊椎脊髄 MRI 検査の要点</p> <p style="text-align: center;">自治医科大学医学部放射線医学 教授 森 壘</p> <p>11:00 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>11:10 —————</p> <p style="text-align: center;">中枢神経・頭頸部放射線検査の要点</p> <p style="text-align: center;">自治医科大学医学部放射線医学 講師 藤井 裕之</p> <p>12:20 —————</p> <p style="text-align: center;">昼 食</p> <p>13:20 —————</p> <p style="text-align: center;">アンガーマネジメント ～怒りと上手に付き合う自分になろう～</p> <p style="text-align: center;">ヤマゼンコミュニケーションズ株式会社 取締役 山本 果奈</p> <p>14:30 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>14:40 —————</p> <p style="text-align: center;">小児放射線検査の要点</p> <p style="text-align: center;">自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター小児画像診断部 講師 古川 理恵子</p> <p>15:50 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>16:00 —————</p> <p style="text-align: center;">IVRにかかわる放射線管理</p> <p style="text-align: center;">那須赤十字病院放射線科 診療放射線技師 増淵 裕介 (血管撮影・IVR 専門診療放射線技師認定技師)</p> <p>17:10 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>17:20 —————</p> <p style="text-align: center;">情 報 交 換 会</p> <p>19:00 —————</p>	<p>9:00 —————</p> <p style="text-align: center;">胸部放射線検査の要点</p> <p style="text-align: center;">自治医科大学医学部放射線医学 講師 篠崎 健史</p> <p>10:20 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>10:30 —————</p> <p style="text-align: center;">腹部放射線検査の要点</p> <p style="text-align: center;">福島県立医科大学会津医療センター 臨床医学部門 教授 歌野 健一</p> <p>11:50 —————</p> <p style="text-align: center;">昼 食</p> <p>12:30 —————</p> <p style="text-align: center;">バスにて移動</p> <p style="text-align: center;">放射線機器の製造について (キヤノン那須工場見学)</p> <p style="text-align: center;">キヤノンメディカルシステムズ 那須工場</p> <p>15:30 —————</p> <p style="text-align: center;">(送迎バスに移動) JR 宇都宮駅および 地域医療情報研修センター解散</p> <p style="text-align: center;">黄色セル部分は変更になった箇所です。 (2024.4.22 財団事務局)</p>	<p>9:00 —————</p> <p style="text-align: center;">放射線業務における医療安全</p> <p style="text-align: center;">上尾中央総合病院 特任副院長 長谷川 剛</p> <p>10:20 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>10:30 —————</p> <p style="text-align: center;">(仮題)AI を用いた読影支援について 富士フィルムメディカル株式会社</p> <p style="text-align: center;">北関東支社 IT ソリューションセンター マネージャー 佐々木 貴浩</p> <p>11:50 —————</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>12:00 —————</p> <p style="text-align: center;">閉 講 式</p> <p>12:15 —————</p>

注)カリキュラム及び講師の一部が変更になる
ことがありますので、予めご了承ください。

第42回 薬剤師研修会日程表

テーマ：病院薬剤師のチーム医療への貢献～病院薬剤師の実際の活動と関わり～

6月13日(木)	6月14日(金)
8:30 受付	8:30 医療安全における薬剤師の役割
9:00 開講式・オリエンテーション	自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 片野 昌宏
9:10 身体所見(バイタルサインなど)・ 検査所見を薬剤部業務に活かそう 自治医科大学附属病院薬剤部・ 薬理学講座臨床薬理学部門 薬剤部長・教授 今井 靖	9:10 休憩
10:10 休憩	9:20 腎臓病薬物療法認定薬剤師の実際
10:20 病院薬剤師業務について(自治医科大学附属病院では)	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 木村 正彦
自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁	10:00 休憩
10:50 休憩	10:10 医薬品情報における薬剤師の役割 (DI, システム, フォーミュラリー等)
11:00 栄養管理における薬剤師の役割	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 副薬剤部長 村岡 篤
自治医科大学附属病院薬剤部 薬剤師 遠藤 径世	10:50 休憩
11:30 休憩	11:00 臨床研究における薬剤師の関わり(CRCの実際)
11:40 感染管理における薬剤師の役割 (抗菌薬の使い方～ASTの実際～)	自治医科大学附属病院臨床研究センター 臨床研究・治験推進部 薬剤師 服部 由
自治医科大学附属病院薬剤部・感染制御部 主任薬剤師 大友 慎也	11:40 ワーキング・ランチ
12:20 昼食	12:40 グループディスカッション
13:20 外来がん化学療法における薬剤師外来の実践	自治医科大学附属病院薬剤部 副薬剤部長 中澤 寛仁
自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 奥田 泰考	釜井 聡子
14:00 休憩	吉岡 崇幸
14:10 緩和ケアにおける薬剤師の関わり	片野 昌宏
自治医科大学附属病院薬剤部 主任薬剤師 稲見 薫	主任薬剤師 若林 宏海
14:50 休憩	荒川 祐輔
15:00 周術期における薬剤師の関わり	薬剤師 荒川 昌史
自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 薬剤師 小林 睦之	自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 副薬剤部長 村岡 篤
15:40 休憩	主任薬剤師 木村 正彦
15:50 災害医療における薬剤師の関わり	17:00 閉講式
自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 主任薬剤師 立石 直人	17:15
16:30 休憩	注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。
16:40 糖尿病患者さんに対する薬剤師の関わり	
自治医科大学附属さいたま医療センター薬剤部 薬剤部長 大塚 潔	
17:20 情報交換会	
19:00	

第9回 栄養管理研修会日程表

テーマ:最新のガイドラインを読み解いて、医療に役立つ栄養管理を学ぶ

ねらい:高齢化社会において、生活習慣に起因する疾患の発症率は増加し、それらの疾患とどのように付き合いながら生活していくかが大きな課題となっている。健康寿命延伸のため、栄養管理に携わる私たちは、日々新しくなるエビデンスを理解し、正しい介入をしていくことが重要である。近年更新されたガイドラインに沿って、それらをどのように医療の現場に生かしていくか、最新の栄養管理について学ぶ場とする。

6月21日(金)	6月22日(土)
8:45 受 付	9:00 NST患者の症例検討
9:15 開講式・オリエンテーション	自治医科大学医学部内科学消化器内科学部門 准教授 坂本 博次
9:30 糖尿病患者の症例検討	自治医科大学附属病院看護部 看護師長 宮沢 玲子
自治医科大学医学部内科学内分泌代謝学部門 准教授 海老原 健	自治医科大学附属病院薬剤部 薬剤師 亀田 尚香
自治医科大学附属病院 看護部 糖尿病看護認定看護師 新井 茉美	自治医科大学附属病院臨床栄養部 栄養管理室長 堀内由布子
自治医科大学附属病院 臨床栄養部 糖尿病病態栄養専門管理栄養士 千葉 円香	12:30 昼 食
11:30 昼 食	13:30 動脈硬化性疾患予防のための食事療法を理解する ～動脈硬化性疾患予防のためのガイドライン2022年版 /診療ガイド2023年版より～
12:30 脳卒中急性期の栄養管理 ～脳卒中治療ガイドライン2021を基に～	神戸学院大学 栄養学部 臨床栄養学部門/臨床検査学部門 教授 藤岡 由夫
自治医科大学医学部内科学講座神経内科学部門 教授 田中 亮太	15:00 休 憩
14:00 休 憩	15:10 "The Japan Diet" を動脈硬化予防に活かすには
14:10 脳卒中患者さんのリハビリテーションと栄養	日本女子大学 家政学部 食物学科 講師 亀山 詞子
自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定理学療法士 木村 和貴	16:00 閉講式
15:00 休 憩	16:15
15:10 「腎疾患=たんぱく制限ではない時代が来ている」	
東京医科大学腎臓内科学分野 教授 菅野 義彦	
16:40 情報交換会	
18:10	

第49回 臨床検査技師研修会日程表

臨床に関わる輸血療法について学ぼう

テーマ:各診療科に関わる輸血療法について理解を深め、知識を習得する。

6月27日(木)	6月28日(金)
8:30 受付	9:00 血液浄化療法 ～アルブミンを用いた血漿交換を含めて～ 自治医科大学附属病院 臨床工学部 主任臨床工学技士 松岡 諒
9:00 開講式・オリエンテーション	10:00 休憩
9:15 休憩	10:15 造血幹細胞移植における輸血療法 自治医科大学 内科学講座 血液学部門 講師 山本 千裕
9:20 R-CPC 血球減少に関わる症例 自治医科大学医学部 臨床検査医学 助教 山本 さやか	11:15 休憩
10:20 休憩	11:30 産科診療と輸血 ～妊娠中の出血性疾患の対応～ 自治医科大学医学部 産科婦人科学 准教授 薄井 里英
10:35 血液疾患と輸血療法 ～血液製剤の適正使用～ 自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部 教授 藤原 慎一郎	12:30 休憩
11:35 休憩	13:30 救命救急センターにおける緊急輸血 ～大量輸血プロトコル～ ～(Massive Transfusion Protocol; MTP)～ 自治医科大学附属病院 救命救急センター 助教 新庄 貴文
12:35 臓器移植(生体肝移植)と輸血療法 ～脱感作療法を含めて～ 自治医科大学附属病院 とちぎ子ども医療センター小児移植外科 准教授 眞田 幸弘	14:30 閉講式
13:35 休憩	14:45 注)カリキュラム及び講師の一部が変更になることが ありますので、予めご了承ください。
13:50 周術期における輸血療法 心臓血管外科手術の術中輸血管理について 自治医科大学附属病院 麻酔科学・集中治療医学 講師 関 厚一郎	
14:50 休憩	
15:05 直接抗グロブリン試験陽性患者の輸血検査 ～検査対応と輸血について～ 自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部 前技師長 岸野 光司	
16:05 移動	
16:30 情報交換会	
18:00	

第2回看護補助者の活用推進のための看護管理者研修会日程表

テーマ：看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実施体制整備に活用することができる

- ねらい：1) 看護補助者との協働において看護職と看護補助者の役割と責任が理解できる
 2) 効果的・効率的な看護を提供するための業務実施体制の整備の方策が理解できる
 3) 看護補助者の確保の方策と労働環境整備の方策が理解できる
 4) 看護職及び看護補助者の教育体制の整備の方策が理解できる

7月8日（月）	
9:00	14:00
受付	8 看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成（グループワークと全体共有）
9:30	
開講式・オリエンテーション	
9:45	
講義（DVD）	休憩（適宜）
1 看護補助者の活用推進の背景	
2 看護補助者の位置づけ	公益社団法人栃木県看護協会教育研修課
3 看護補助者との協働に関する基本的な考え方	専任教員・看護職
4 業務実施体制の整備（小ワーク）	大竹 信子 他1名
公益社団法人栃木県看護協会教育研修課	17:00
専任教員・看護職	閉講式
大竹 信子 他1名	17:15
休憩（適宜）	
講義（DVD）	
5 看護職への教育体制の整備	
6 看護補助者の労働環境の整備及び確保等（小ワーク）	
7 看護補助者の育成・研修・評価（小ワーク）	
公益社団法人栃木県看護協会教育研修課	
専任教員・看護職	
大竹 信子 他1名	
13:00	
昼食	
14:00	

第22回健康企画・評価研修会

住民の心身トータルの健康を目指した事業の企画法

テーマ：住民が元気になる健康事業企画と評価

8月1日（木）	8月2日（金）
9:00 受 付	9:00 具体的事例検討会① ～事業計画→実施→評価のすべて～ ひとづくり、つながりをベースに健康づくり
9:30 開講式 オリエンテーション	新潟労働衛生コンサルタント事務所 保健師 鈴木 美和
10:00 健康事業企画の基本的考え方 ～目指すは元気と病気の調和した健康づくり～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一	10:45 休 憩
12:00 昼 食	10:50 具体的事例検討会② ～生きがいと健康の調和～ 人生を楽しむための生きがいの探し方・見つけ方 上野医院 医師 上野 学
13:00 参加したくなる病気予防と元気づくりの合体した 健康教室の企画法 ～参加型、楽しい、元気になる、 そして結果に繋がる教室運営法～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一	12:30 昼 食
15:00 休 憩	13:30 具体的事例検討会③ 今の時代にあった企画 ～心惹かれるコンテンツを考える～ 社会医療法人 中山会宇都宮記念病院 総合健診センター 中山会副看護部長／健診センター統括 千葉 暢子
15:15 well-being 生活に向けた健康評価法 ～アップしよう！自分の評価力～ 独立行政法人 国立病院機構栃木医療センター 医師 村上 恵理	15:10 休 憩
17:15 情報交換会	15:20 具体的事例検討会④ ～元気づくり企画～ 住民、スタッフのやる気を育てる 保健師 宮崎 由紀子
18:45	17:00 閉講式
	17:15 注) カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。

第43回 保健活動研修会日程表

保健活動に活かす疫学・統計セミナー（調査研究の立案・学会発表・論文執筆まで）

8月9日(金)	8月10日(土)	8月11日(日)
13:45 受 付	9:30 調査・研究の実際 (2) ～バイアスや交絡の制御を含む 疫学の知識を学ぶ～	9:00 研究と倫理 ～最近の話題を交えて調査研究 と倫理について概観する～
14:15 開講式 オリエンテーション	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 小佐見 光樹	国立成育医療研究センター 成育子どもシンクタンク 副所長 山縣 然太朗
14:30 調査研究および疫学の基礎 ～調査研究の基本知識と 疫学の基礎を概観する～	10:40 休 憩・移 動	10:10 休 憩
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介	11:00 情報収集・文献検索の実際 (演習) ～コンピュータを用いた演習～	10:30 エクセルによる統計解析の実際 ～コンピュータを用いた演習～
15:40 休 憩	宮城大学看護学群 准教授 江角 伸吾	パソコンじゅく自治医大駅前教室 チューター 原 久子
15:55 調査・研究の実際 (1) ～社会調査の実際を中心に～	12:20 昼 食	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 青山 泰子	13:20 グループワーク ～与えられた課題について、 各グループで具体的な研究計画 にチャレンジする～	教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹
17:05 休 憩	浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之	12:00 昼 食
17:20 統計学の基礎 ～保健活動のための データのまとめ方 (基礎) ～	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹	13:00 学会発表と論文作成 ～学会発表・論文執筆の基礎を学ぶ～
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 助教 小佐見 光樹	16:00 休 憩	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 准教授 桑原 政成
18:30 振り返り・情報交換会	16:15 グループワーク報告会	14:10 休 憩
自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹	浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之	14:15 閉講式
20:00	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門 教授 阿江 竜介 准教授 桑原 政成 准教授 青山 泰子 助教 小佐見 光樹	14:30 注)カリキュラム及び講師の一部が変更 になることがありますので、予めご了承 ください。
	17:15	

第2回 看護師特定行為研修修了者スキルアップ研修会日程表

特定行為の実践に必要な臨床推論を復習し、組織で活躍できる看護実践者になろう！

テーマ:最善な特定行為実践のための基礎知識と看護実践力の向上

ねらい:2015年度から開始した看護師の特定行為に係る研修制度の研修修了看護師は6,875人(2023年3月)、研修を展開している指定研修機関は、360施設(2023年8月)となった。

各指定研修機関では「チーム医療」、「医療安全」、「高度な臨床実践能力」、「自己研鑽」などの研修制度の理念を踏まえ、それぞれに目的・目標を設定し研修を行っているが、研修修了時の到達度が統一されていないという指摘がある。

さらには、研修修了後の知識や看護技術を更新していく機会には個人差があり、修了後のフォローアップやスキルアップにおける課題が多く報告されている。

そこで、最善な特定行為実践のために必要な基礎知識として臨床推論や症候学を復習し、「good practice」を共有することで看護実践力の向上を目指す機会としたい。

8月30日(金)	
8:30	受付
9:00	開講式・オリエンテーション
9:15	糖尿病患者の輸液調整 自治医科大学看護学部看護基礎科学 教授 倉科 智行
10:35	休憩
10:40	臨床推論の復習 自治医科大学医学部情報センター 教授 石川 鎮清
12:00	休憩
13:00	輸液栄養療法の適正使用に関する情報 株式会社大塚製薬工場 学術部 学術担当 関東ブロック 係長 松本 真歩
14:30	休憩
14:40	輸液調整に関する症例検討についての オリエンテーション 自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子
14:50	
14:50	輸液調整に関する症例検討 自治医科大学医学部情報センター 教授 石川 鎮清 自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子 講師 佐々木 彩加 助教 村松 真吾
16:40	休憩
16:50	特定行為研修制度の動向 自治医科大学看護学部 看護師特定行為研修センター 教授 村上 礼子
17:20	閉講式
17:35	情報交換会
19:00	

注)カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。

第42回健康学習研修会

行動変容、意識変容の基本となるコミュニケーション技法の習得

テーマ：健康教育から健康学習へ

ねらい：保健医療従事者がコミュニケーション力をつけることが、住民の継続的行動変容につながります。「伝える」コミュニケーション法から「伝わる」コミュニケーション法に変えると住民は主体的に学びたくなる。そのコミュニケーションの基本をしっかりと身につけられる研修会です。

9月5日(木)	9月6日(金)
9:00 受 付	9:00 明日から使える健康学習 ～住民の健康づくりに 大切なこと・必要なこと～
9:30 開講式 オリエンテーション	(元)新潟県燕市役所 保健師 石田 奈津子
10:00 住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～	10:45 休 憩
日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一	10:50 令和に必要とされる健康セミナー ～常に対象者から学ぶ～
12:15 昼 食	健康支援BonAppetit 管理栄養士 植村 瑠美
13:15 集団がやる気になるために ～ムードづくり及びシナリオ作成法～	12:30 昼 食
日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川 雄一	13:30 総合的視点から見た心身の健康指導 住民の力を伸ばす～魔法の言葉かけ～
15:15 休 憩	ヘルスシード 医師 杉山 葉子
15:30 新しい時代の健康の着眼点とは ～過去・現在・そして未来～	15:10 休 憩
新町クリニック健康管理センター 医師 神應 知道	15:20 さやかで学ぶ住民の視点に立った保健指導 ～継続的行動変容につながる コミュニケーション～
17:30 情報交換会	川崎市立多摩病院 救急災害医療センター (指定管理者 聖マリアンナ医科大学) 副センター長 野村 悠
19:00	17:00 閉講式
	17:15 注) カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。

第 20 回 口腔ケア研修会 日程表

10月4日(金)	10月5日(土)
8:30	9:00
受 付	口腔がんについて ～口腔がんとケア～
9:00	自治医科大学歯科口腔外科学講座 助教 杉浦 康史
開講式 オリエンテーション	9:30
9:15	休 憩
口腔について ～口腔の解剖と機能、疾患～	9:35
自治医科大学附属さいたま医療センター 教授 森 良之	糖尿病と歯周病 ～病因・病態・合併症予防～
10:00	自治医科大学内科学講座内分泌代謝学部門 准教授 岡崎 啓明
休 憩	10:05
10:05	休 憩
口腔ケアについて ～口腔ケアの目的～	10:15
自治医科大学歯科口腔外科学講座 医員 林 宏栄	口腔粘膜病変を契機に診断する皮膚疾患、 皮膚病変を契機に診断する口腔粘膜疾患 ～歯科口腔外科と皮膚科の連携が必要な疾患～
10:35	自治医科大学皮膚科学教室 助教 中野 尚美
口腔ケア用品について ～清掃用具や保湿剤・含嗽剤などの紹介～	10:45
自治医科大学歯科口腔外科学講座 医員 林 宏栄	休 憩
11:05	10:50
休 憩	摂食嚥下について ～嚥下機能の異常～
11:20	自治医科大学歯科口腔外科学講座 臨床助教 月村 久恵
口腔ケアの基本 ～評価方法と清掃方法～	11:20
自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 鈴木 祐子	昼 食
12:05	11:25
昼 食	口腔リハビリテーション ～口腔機能と摂食嚥下のリハビリテーション～
13:05	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 主任歯科衛生士 若林 宣江
周術期口腔ケア ～様々な疾患に対する立案と実際～	11:55
自治医科大学歯科口腔外科学講座 臨床助教 山本 亜紀	休 憩
13:35	13:10
休 憩	摂食嚥下リハビリテーション ～言語聴覚士による摂食嚥下リハビリテーションの介入～ 自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター
13:40	言語聴覚士 五十畑 舞
インプラントについて	13:40
自治医科大学歯科口腔外科学講座 病院助教 作山 葵	休 憩
14:10	13:50
休 憩	口腔ケアの実際1 ～口腔がん術後 CRT 中の介入～
14:15	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 秋元 麻美
誤嚥性肺炎と口腔内環境 ～病態と予防、最新の知見も踏まえて～	14:50
自治医科大学内科学講座呼吸器内科学部門 病院助教 佐藤 春菜	休 憩
14:45	14:55
休 憩	口腔ケアの実際2 ～摂食嚥下障害での介入～
15:00	自治医科大学附属病院歯科口腔外科 歯科衛生士 山岡 真琴
血液科診療と口腔 ～口腔浸潤で見つかる造血器腫瘍と化学療法・ 造血幹細胞移植時の口腔ケアの重要性について～	15:55
自治医科大学内科学講座血液学部門 臨床助教 戸田 由美子	休 憩
15:30	16:00
休 憩	脳卒中と歯周病 ～病態、治療法についての最近の知見、 歯科診療との関わり～
15:35	自治医科大学内科学講座神経内科学部門 講師 益子 貴史
全身疾患と口腔 ～口腔と全身のかかわり～	16:30
自治医科大学 歯科口腔外科学講座 教授 野口 忠秀	閉講式
16:20	16:45
休 憩	注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがあり ますので予めご了承ください。
16:25	
心疾患と歯周囲病 ～病態・原因・予防～	
自治医科大学 外科学講座心臓血管外科学部門 教授 川人 宏次	
16:55	
休 憩	
17:10	
情報交換会	
18:40	

第4回 災害保健研修会日程表

災害時に保健医療従事者に求められる被災者への対応と中長期的な被災者への対応

テーマ：地域保健活動における災害への中長期的メンタルヘルスの対応力を高めよう！

ねらい：自然災害・人為災害・パンデミック等、一度に多数の人々が危機的状況に直面する事象が近年頻発している。災害被災者の支援として、災害発生時にメンタルヘルス不調を感じている人々、および災害後、中長期にメンタルヘルス不調を生じる人々への支援がある。災害中長期には、うつ、アルコール依存、自殺への対策は、生活支援全般の一部として、平時のメンタルヘルス対策と共通した課題として表面化してくることも少なくない。

メンタルヘルス不調を抱える人は自から希求行動をとらないため、多方面からの多種多様な情報を判断して対応することが求められる。講義と演習を通して、発災後、中長期的に保健従事者に求められる被災者へのメンタルヘルスの対応方法及び平常時から行うべき活動を理解する。

10月19日(土)	10月20日(日)
9:45	9:00
受付	支援者のメンタルヘルス支援 自治医科大学 看護学部 教授 永井 優子
10:15	9:30
開講式 オリエンテーション	災害被災者への中長期的な対応(事例) 自治医科大学 看護学部 助教 地神 由加里
10:30	10:20
WHO版 心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド:PFA) 被災者へのケア I 東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科 准教授 白倉 瞳 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン スタッフ 長下部 穰 協力: ストレス・災害時こころの情報支援センター	休憩
12:00	10:30
昼食	被災者支援の実際 ～中長期的活動を中心に～ NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムを作る会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨
13:00	12:00
WHO版 心理的応急処置 (サイコロジカル・ファーストエイド:PFA) 被災者へのケア II と支援者へのケア 東北学院大学 人間科学部 心理行動科学科 准教授 白倉 瞳 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン スタッフ 長下部 穰 協力: ストレス・災害時こころの情報支援センター	昼食
17:00	13:00
情報交換会	メンタルヘルス上の課題を持つ人への支援演習 自治医科大学 看護学部 教授 永井 優子 講師 路川 達阿起 助教 地神 由加里 NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムを作る会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨
18:30	15:30
注) カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので予めご了承ください。	研修の振り返り 自治医科大学看護学部 教授 永井 優子
	NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムを作る会 相馬広域こころのケアセンターなごみ センター長 米倉 一磨
	15:45
	閉講式
	16:00

注) 本研修会を受講される方は、必ず以下の動画を事前にご視聴のうえ研修会にご参加ください。

動画: 「災害時の保健活動」
講師: 自治医科大学看護学部 教授 永井 優子

※視聴方法については、受講決定通知後に(公財)地域社会振興財団から追ってご連絡いたします。

第24回 リハビリテーション研修会日程表
医療従事者に必要な急性期リハビリテーションの知識と技術

10月24日(木)	10月25日(金)
8:30 受 付	9:00 呼吸器疾患の急性期理学療法 介入のポイント 福島県立医科大学保健科学部理学療法学科 教授 高橋 仁美
9:00 開講式 オリエンテーション	11:20 休 憩
9:20 集中治療室におけるリハの実際 自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 主任/認定理学療法士 関根 利江	11:30 急性期栄養管理のポイント 自治医科大学附属病院臨床栄養部 栄養管理室長/管理栄養士 堀内 由布子
9:50 休 憩	12:20 昼 食
10:00 外傷患者の急性期医療管理 自治医科大学附属病院救命救急センター 准教授 松村 福広	13:20 急性期摂食嚥下療法 介入のポイント 自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定言語聴覚士 富樫 結香
12:20 昼 食	14:10 休 憩
13:30 急性期作業療法 介入のポイント 自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 作業療法士 牡鹿 実	14:20 脳卒中の急性期治療 自治医科大学医学部 内科学 神経内科学部門 教授 藤本 茂
14:20 休 憩	15:40 昼 食
14:30 心疾患の急性期理学療法 介入のポイント 自治医科大学附属さいたま医療センター リハビリテーション部 室長 関根 一樹	15:50 脳血管障害の急性期理学療法 介入のポイント 自治医科大学附属病院リハビリテーションセンター 認定理学療法士 濱田 桂佑
15:30 休 憩	16:50 閉 講 式
15:40 外傷患者の急性期理学療法 介入のポイント (独)労働者健康安全機構山口労災病院 中央リハビリテーション部 理学療法士 砥上 恵幸	17:05 (注)カリキュラム及び講師の一部が変更になる ことがありますので、予めご了承ください。
17:00 情報交換会	
18:30	

第47回 スタッフ育成・管理担当者研修会日程表

スタッフ育成のためのティーチングとコーチングの実際を学ぼう

テーマ：スタッフ育成のためのティーチングとコーチング

- ねらい：1. ティーチングとコーチングの実際を学び、やる気のある自立したスタッフの育成に向けて、効果的な関わりができる知識と能力を身につける。
2. 安全で質の高いサービスを実現するために、自立したスタッフによる多職種協働のチームワークを理解し、支援する知識と能力を身につける。

11月1日（金）	11月2日（土）
9:00 受 付	9:30 ベテランへのコーチング ～スタッフのやる気と 質の高い医療・福祉サービスを 支持する方法～
9:30 開講式・オリエンテーション	東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹
10:00 スタッフを育てるリーダーシップ ～キャリアパスに即したティーチングと コーチングの使い分け～	12:00 休憩（昼食）
チームワークとリーダーシップ ～安全で質の高いサービスを 実現するチームワーク～	13:00 多職種協働によるチームワーク ～それぞれの専門性を活かして 互いに補い合う多職種協働の方法～
東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹	東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹
12:00 休憩（昼食）	16:30 閉講式
13:00 ビギナーへのティーチング ～スタッフのパフォーマンスにつながる 効果的な指示と助言の方法～	16:45
東京女子医科大学看護学部 統合教育学修センター 准教授 諏訪 茂樹	※およそ 90 分に 1 回、随時休憩
17:00 情報交換会	
18:30	
※およそ 90 分に 1 回、随時休憩	

第2回チーム医療充実を目指した メディカルプロフェッショナル研修会日程表

メディカルプロフェッショナルが一丸となって地域医療を充実させよう

テーマ：心臓・血管病に挑む

ねらい：各職種毎の研修会・勉強会は多く開催されているものと思います。今回の研修会では各職種を横断し、特に診療現場でのトピックスを共有し今後の診療に **one team** で挑むための機会になれば幸いです。特に心臓病は、ついさきほどまで元気にされていた方が急に病態が悪化する等 救急対応が求められ、また慢性期のチーム医療がその予後を大きく改善することが知られております。今回、循環器診療に焦点を絞り、その取り組みについて議論したいと思います。

11月8日（金）	
<p>8:45 _____</p> <p style="text-align: center;">受 付</p> <p>9:15 _____</p> <p style="text-align: center;">開講式・オリエンテーション</p> <p>9:30 _____</p> <p>循環器内科におけるカテーテル治療の実際 自治医科大学附属病院 循環器内科 血管内治療センター 心疾患治療部 准教授 船山 大</p> <p>10:20 _____</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>10:30 _____</p> <p style="text-align: center;">心臓血管外科治療 自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学2 教授 木村 直行</p> <p>11:20 _____</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>11:30 _____</p> <p style="text-align: center;">心臓・血管病診療 特に急性期診療における各職種の取組み</p> <p>① 自治医科大学附属病院 臨床工学部 (11:30-11:50) 技師長 木村 好文</p> <p>② 自治医科大学附属病院 画像診断部 (11:50-12:10) 副技師長 松枝 勝浩</p> <p>12:10 _____</p> <p style="text-align: center;">心不全診療 地域連携の取組みも含めて 自治医科大学医学部 循環器内科学 講師 小森 孝洋</p> <p>12:40 _____</p> <p style="text-align: center;">昼 食</p> <p>13:40 _____</p> <p style="text-align: center;">午前のまとめと午後のプログラム紹介 自治医科大学 循環器内科学・臨床薬理学 自治医科大学附属病院 薬剤部 教授 今井 靖</p> <p>13:50 _____</p>	<p>13:50 _____</p> <p style="text-align: center;">循環器および背景疾患に係る薬剤師の役割 自治医科大学附属病院 薬剤部 薬剤師 大野 翼</p> <p>14:30 _____</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>14:40 _____</p> <p style="text-align: center;">心臓・血管病診療における 各職種の取組みと課題</p> <p>① どうするべきだった パニック値への対応と改善点（心電図について） 自治医科大学附属さいたま医療センター (14:40-15:00) 臨床検査部 副技師長 早川 勇樹</p> <p>②心不全治療への看護師の積極的関与～植込型補助人工心臓装着患者看護・意思決定支援～ 自治医科大学附属病院 循環器センター (15:00-15:20) 看護師 砂川 貴之</p> <p>③心不全における栄養指導の取組み 自治医科大学附属病院 臨床栄養部 (15:20-15:40) 主任管理栄養士 芳賀 敦子</p> <p>④心臓血管病および背景疾患へのリハビリテーション 自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター (15:40-16:00) 主任理学療法士 中川 泰宏</p> <p>16:00 _____</p> <p style="text-align: center;">休 憩</p> <p>16:10 _____</p> <p style="text-align: center;">糖尿病・脂質異常症の管理 自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学1 教授 原 一雄</p> <p>17:00 _____</p> <p style="text-align: center;">閉講式</p> <p>17:10 _____</p>